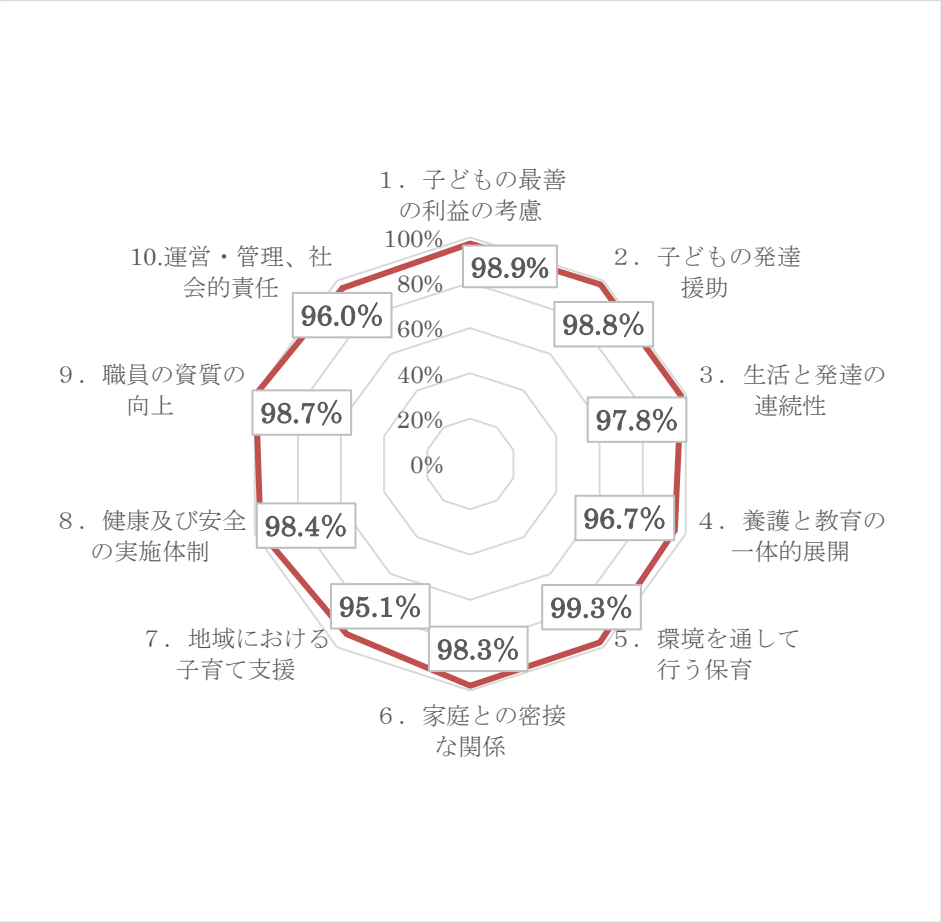
令和５年度 保育所の自己評価について

令和６年２月28日
ゆうゆうきっす新子安

１．職員の自己評価（令和６年１月実施）より

〈「十分理解している」・「理解している」と回答した割合〉



２．取り組み状況

〈努力した点〉

- 新型コロナウイルス感染状況が一定の鎮静化を見せる中、引き続き感染防止に努めつつ、保育活動の活性化を進め子どもたちに多様な体験を提供するよう努力した。

- 子ども主体の保育への取り組みを開始し、月間保育目標を設定して子どもの最善の利益を追求することに努力した。

- 園内研修や職員会議の場を活用し、保育理念や人権尊重・虐待防止などの学びを深めるとともに、安全・衛生面のマニュアル読み合わせを入念に行い認識を高める努力をした。

〈課題・改善点〉

- 子ども主体の保育をさらに進めるとともに異年齢の交流など子どもの発達援助を多面的に支える活動を進めていきたい。

- 「地域における子育て支援」に対する評価は、若干改善したものの依然として他の項目より低い段階にある。地域における園の役割を職員全員が再認識できるよう取り組んでいきたい。